

第2期三原市地域公共交通網形成計画（案）に対する意見内容及び市の考え方について

意見提出人数 1人 1件

該当箇所	第4章 計画の基本方針 4.4 目標を達成するための事業及び実施主体 P80 (1)路線バスの運行・改善	
	意見	市の考え方
	<p>市内の交通渋滞により路線バスが定刻通りに運行ができないため、現在の三原駅を起点とした路線バスルートの抜本的な見直しを提案する。</p> <p>(1)本郷駅を起点とした市北部（久井町，大和町）と本郷駅のバス輸送とJRの鉄道輸送を組み合わせた市中心部への人の流れの創出</p> <p>(2)幸崎駅と本郷駅間にある団地や集落（小泉町・沼田東町）を回って両駅を往復するバス輸送とJRの鉄道輸送を組み合わせた市中心部への人の流れの創出</p> <p>メリットとして、高速道事故時の迂回渋滞，神明市など祭り渋滞，バイパスの通行止め渋滞，自然渋滞となった場合でも，路線バスは市中心部まで乗り入れず，本郷駅からJRに乗り換えするため，渋滞なく予定通り目的地につける。</p> <p>また，海側や沼田東町，小泉町，大和町，久井町の学生が総合技術高校や河内高校，三原高校，三原東高校に通う際の利便性もアップし，自家用車等の交通手段を持たないお年寄りが日赤病院や駅周辺への買物等にも出やすくなる。</p> <p>将来の拡張として，JRと交渉し，呉線は三原駅，忠海駅間の往復便の増発と，できれば貝野町と三原高校の間に無人駅設置。山陽本線についても，2両編成程度で本郷駅～三原駅間の往復便の増発でより便利になる。</p>	<p>路線バスの利便性向上に向けて，定時性の確保は必要不可欠なものと認識していますが，市内で生じる渋滞は，三原バイパスなどの道路整備により，以前に比べて発生頻度は少なくなっていると認識しています。</p> <p>ご提案いただいたルートは，既存ルート以上に時間や料金を要す可能性も考えられ，また，一定程度の利用者を確保できるかについても懸念されるところです。</p> <p>なお，ご提案いただいた本郷駅～久井～大和間を結ぶ路線バスルートについては，過去に実証運行を行いました，利用状況は低調で本運行には至らなかった経緯があります。</p> <p>近年，バス事業者の運転手不足や高齢化が深刻な問題となっており，新規路線の運行は容易でなく，計画案では路線バスの既存路線の維持を基本としていますが，今後，生活交通の利便性を高めると判断できる路線設定が具体化した場合は，バス事業者等の関係者と連携し，検討してまいります。</p> <p>また，山陽本線・呉線の増便のご意見につきましては，JR西日本との協議が必要となりますが，市全体の公共交通を考える上で，参考にさせていただきます。</p>